慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介；編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2015
Jtitle	近代日本研究 (Bulletin of modern Japanese studies). Vol.32, (2015.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20150000-0266

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

堀内正昭	昭和女子大学大学院生活機構学専攻教授
中嶋久人	早稲田大学大学史資料センター非常勤嘱託
山内慶太	慶應義塾大学看護医療学部教授
柴田真希都	日本学術振興会特別研究員
末木孝典	慶應義塾高等学校教諭
三科仁伸	慶應義塾大学文学部助教（有期・研究奨励）
島田雄一郎	東北大学大学院文学研究科博士課程後期
姜兌玧	慶應義塾福沢研究センター調査員 慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程
西沢直子	慶應義塾福沢研究センター教授

編集後記

日本最初の演説会堂である慶應義塾大学・三田演説館（国の重要文化財）は、明治八（一八七五）年五月に竣工した。二〇一五年は、それから一四〇年目にあたり、また東京府史跡の指定（大正四年）からちょうど百年目になる。そこで、本巻では「三田演説館開館一四〇年」を特集し、この歴史的建造物の意義について再考する材料を提供することとした。お忙しい中、貴重なご論考をお寄せいただいた堀内、中嶋両先生には、この場を借りて厚く御礼申し上げる。

今回の一般投稿論文は、査読の結果、論説三本、研究ノート一本を掲載することとなった。分野的には、思想史、政治史、経済史、医学史という多様なラインアップになった。ほかに、新発見の福沢諭吉関連資料の紹介と前巻に続き明治期慶應義塾への朝鮮留学生に関する資料の紹介を収めた。

本誌は、今後とも、福沢諭吉および慶應義塾史を中心とする近代日本研究の成果発表および交流の場（フォーラム）として、その役割をしっかりと果たしていく所存である。

次巻は、二〇一七年二月の刊行予定である。多数の野心的な論文の応募を期待したい。